

# おもちゃ図書館Q&A

# 16号

発行者：特定非営利活動法人おもちゃの図書館全国連絡会

〒116-0014 東京都荒川区東日暮里2-25-11 電話03-6807-8813 FAX03-6807-8863 E-mail:renrakukai@toylib-jpn.org

## テーマ ▶ おもちゃ図書館ボランティアについてのアンケート

おもちゃ図書館のボランティア活動が始まって40年がすぎ、多くのボランティアの参加でおもちゃ図書館の活動が支えられてきました。

おもちゃ図書館を支えるボランティアのみなさんの活動を継続する力の「源」がどこにあるのか？ 聞いてみました。

今回、117館のおもちゃ図書館、ボランティア215名の方にアンケートにご協力いただきました。



### 現在の年齢を教えてください

60歳以上の方の割合が68%

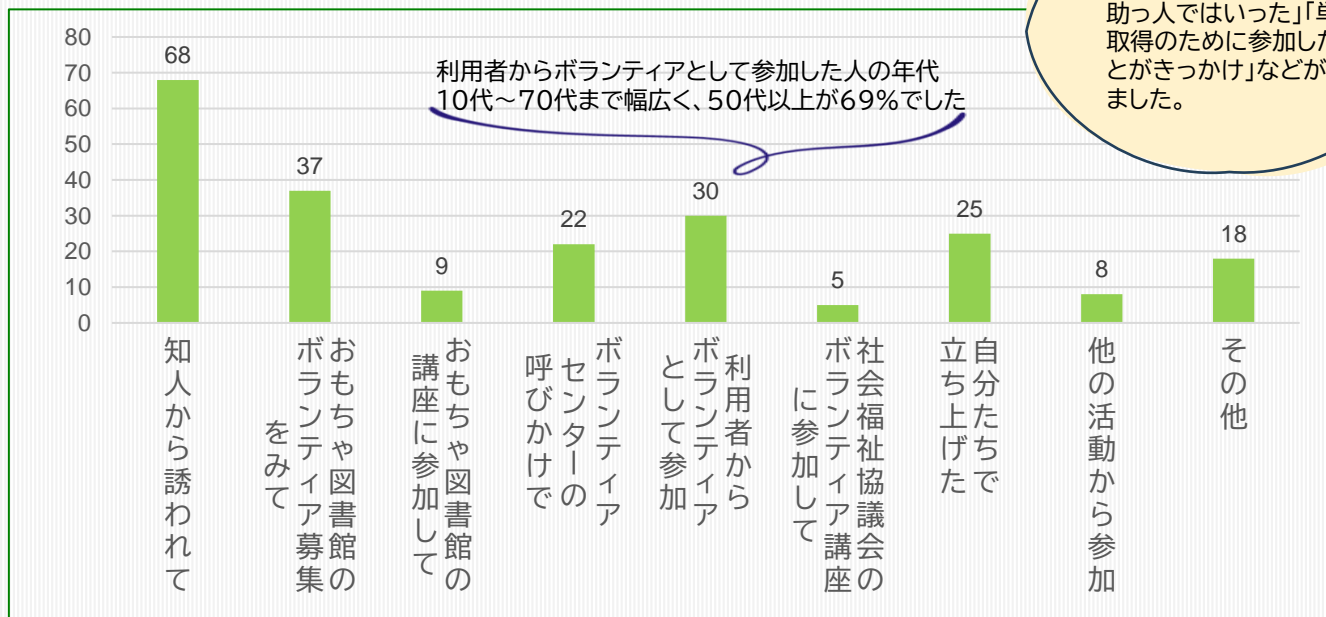
10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80以上	未回答
5	2	7	17	31	61	63	18	5

30・40代は「知人から誘われて」、「利用者から参加」が多めでした



### おもちゃ図書館のボランティアをはじめたきっかけはなんですか？

その他のご意見、「家族がかかわっていて、助っ人ではいった」「単位取得のために参加したことがきっかけ」などがありました。



### おもちゃ図書館のボランティア活動の年数を教えてください

10年以内の方が約50%

1年未満	2～10	11～20	21～30	31～40	40年以上	未回答
13	88	35	32	27	9	11



## おもちゃ図書館ボランティア活動を通してうれしかったこと (自由記述)

### 子ども・保護者とのかかわりについて

- ・子どもたちから元気もらっています。(多数の似た回答ありました)
- ・子どもたちの笑顔と うわー！これは、と色々おもちゃが想像を膨らませてくれる場面に出会う事。
- ・制作に携わったおもちゃで、楽しそうに遊ぶ姿を見る事ができ、嬉しかったです。
- ・定期的に来てくださる子供達が成長していく過程をみられること。
- ・子ども達が大きくなって「なつかしいです～」と言って遊びに来てくれた時。
- ・遠くにお引越しされた方や大きくなった子供達が訪ねてきてくれた事。兄弟代々長期間遊びに来てくれた事。
- ・子どもたちや保護者の笑顔、初めて来館の子どもにおもちゃを渡され遊びに入れてもらった瞬間、目があってニコツと笑ってくれたこと、気になる親子が次回も来館してくれた等。
- ・利用者の親子さんや当番同士仲良くなれた。
- ・地方出身で頼るところが少ないママ達がおもちゃ図書館を通じて仲良くなり輪が広がっていくこと。
- ・来館されるお子さまが、だんだん成長していく姿を保護者の方と共に見守る中で、ぽろっと保護者の方が本音を話してくださることや、ありがとうと言ってくださったこと。
- ・子供達の成長を感じられた事、家、学校、就労先で見られる姿と違い自分の好きな事をしているよい笑顔に出会える事。
- ・「うちの子は何も興味を示さない」と保護者が嘆かれていた子どもさん、みんなが楽しく遊んでいる雰囲気触れて自分からおもちゃに手を出してくれたこと。
- ・障害をもつ親とのかかわりを通し相談されることをはじめ交流が持てたことがよかったです
- ・子どもの障がいの有無に関わらず、子ども同士が触れ合う姿を見ることが出来たこと。
- ・自身の息子が毎回おもちゃ図書館を楽しみにしている。また、おもちゃ図書館を通じてたくさんの人と出会うことができたこと。

### ボランティア・地域とのかかわり、その他

- ・ボランティア仲間と知り合えたこと。(多数の似た回答ありました)
- ・たくさんの人に喜ばれる、利用者さんもボランティアさんもそれぞれが自分のためになっていること。
- ・障がいをもつ子供を育てている人もそうでない人も一緒に関われる活動で素晴らしい仲間と出会って長く続けていられることが嬉しいです。
- ・普通に生きていたら、知ることが出来なかった世界を知ることが出来た。
- ・地域の方々と知り合いになれたこと。有意義な時間を過ごすことができること。
- ・専門性のない自分でも自信を持って、子どもの居場所活動に関わることができる。
- ・人から必要とされ、やりがいを感じるころ。
- ・高齢になっても、社会の一員になっている(役に立っている)と実感できること。
- ・障がい児者への理解してくれた学生ボランティアさんがドクターやナース、学校の先生、施設のスタッフとして活躍している。
- ・私が主宰するおもちゃ図書館での出会いが一つのきっかけになって、他県へ転居されてから木のおもちゃ作りに取り組みまれたり、おもちゃの専門家になられた方がいること。
- ・経済的に余裕があるとは言えないご家族からもう使わなくなったおもちゃを活用してほしいとの申し出があり取りに何うとおもちゃをととても大切に扱ってこられたのがわかったこと。
- ・世界のトイライブラリアンとの交流を図ることができた。



## おもちゃ図書館ボランティアを継続する力になっていることは？(自由記述)

### 子どもたちの笑顔にであえた

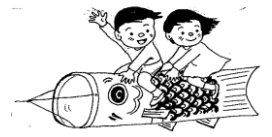
- ・いつもかわいい子供達に会えること。(多数の似た回答ありました)
- ・毎回、色々な子どもやお母さんに会えるのがとても楽しく嬉しいです。
- ・遊びやおもちゃを通じて子供たちの成長にかかわれる。
- ・日常生活の中で聞くことがなくなった子供の声に元気をもらえる。
- ・子どもたちの存在。ハンディのある子を取り巻く状況の足りない部分の多さ 啓発の必要を感じる 仲間を増やす必要を感じる ネットワークを作る必要を感じる
- ・おもちゃ図書館に来ると子どもも私(親)もホッとす。コロナで出会えなかった時に自分の思いを伝えあえる仲間がいるというだけで心強かった。
- ・障害児、その親にとって、よりどころとなっていること。信頼しあえるボランティア同士の関係性。
- ・参加したことによって障害を持っている人、子供さん達とおしゃべりしたり遊んだりできるようになりました。以前はそんな機会もほとんどなかったので、子供さん達の笑顔最高、そしてお父さん、お母さんの笑顔も最高です。
- ・障がい児者とその家族の居場所を守り、生きる力と誇りを持っておもちゃの図書館のボランティア活動に取り組み行政の理解と協力を得ることが少しでも出来る。

### 仲間とのであい

- ・すてきな仲間がいること、たいへんな事をいやがらずに前向きに行うことができ更に心やさしい人が大勢います。
- ・気楽な気持ちで参加でき、行くと何か元気がもらえる、家庭とも職場とも違う、第3の場所になっている。
- ・ボランティアの仲間がとても良い方たちばかりで、おもちゃ図書館のみならずいろいろなボランティア活動に率先してあるいは協力して下さることかなと思います。
- ・ベテランボランティアさん達や子育ての先輩方が親切にしてくださること。私自身がおもちゃ図書館の存在に何度も救われたので、少しでもお手伝いをさせてもらえればと思っています。
- ・全国に仲間がいること。
- ・日本おもちゃ図書館財団、全国連絡会、県連絡会のバックアップ。

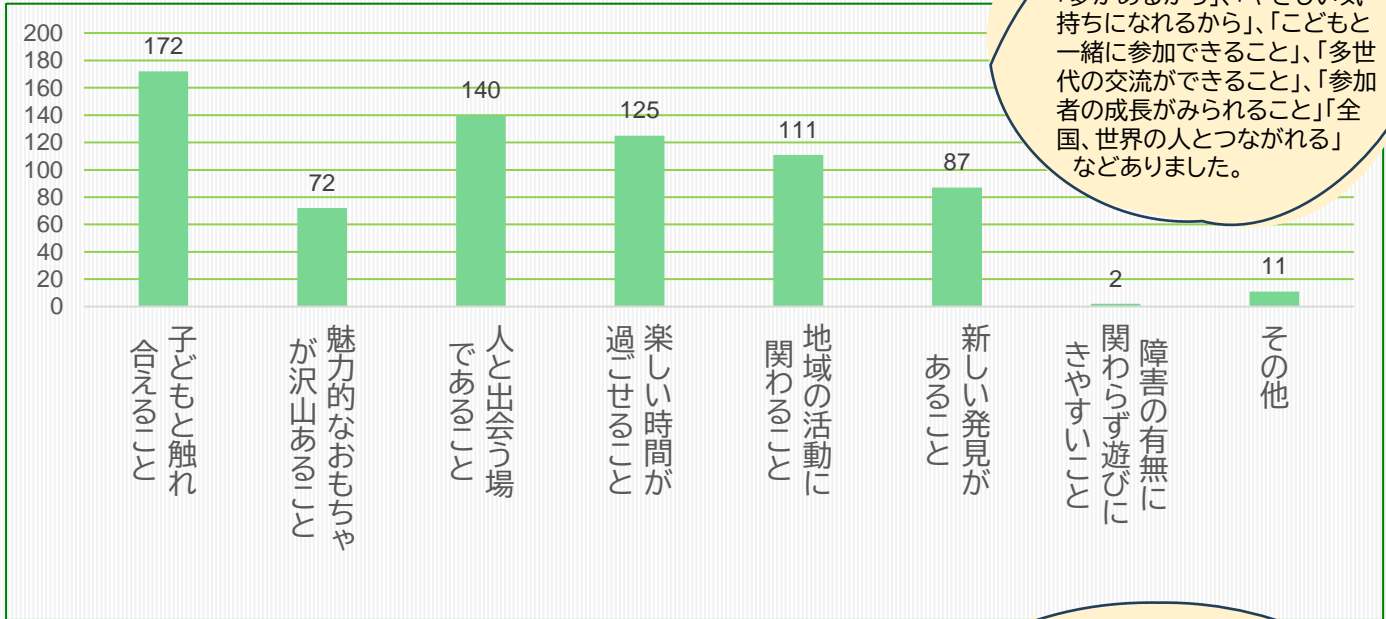
### 場づくり、居場所、その他

- ・おもちゃの図書館以外にも、アート活動をやっていたり、芝生の庭があるので外で遊べたり、ミニカフェとして昼食も提供したりしているので、1日遊ぶことができるおもちゃの図書館になっている。子どもたちが楽しく遊んでいることが1番嬉しいことだが、普段、子どもに付きっきりのお母さんやお父さんが少しでも息を抜ける場になった時に、いい場所だな～と感じる。そんな時にやっていてよかったと思う。
- ・愉快で楽しくおもしろい、ボランティアは自由であるから知恵がわいてくる、人と人がつながる場をつくる。
- ・自分の技術が役にっていると感じる、社会とのつながりを持つこと、新しい発見がある。
- ・仕事もやめ 中々 外とは関われないのに ささやかな自分の力が必要にされていると思えるので。
- ・只今、子ども食堂とも併用しているので、ボランティア人数も自然に増え何よりも親同士(子育て終了のかた)又利用する親子さんの笑顔が沢山見れるのがお互いに喜んでもらえる喜べるがよいと思います。
- ・始まってあまり年月が経っていない手探りの状態でより良いおもちゃ図書館を試行錯誤しながらやっていることが力になっている。
- ・今となったら自分の居場所になっている。後継者がいない自分が止めたら終わってしまう。



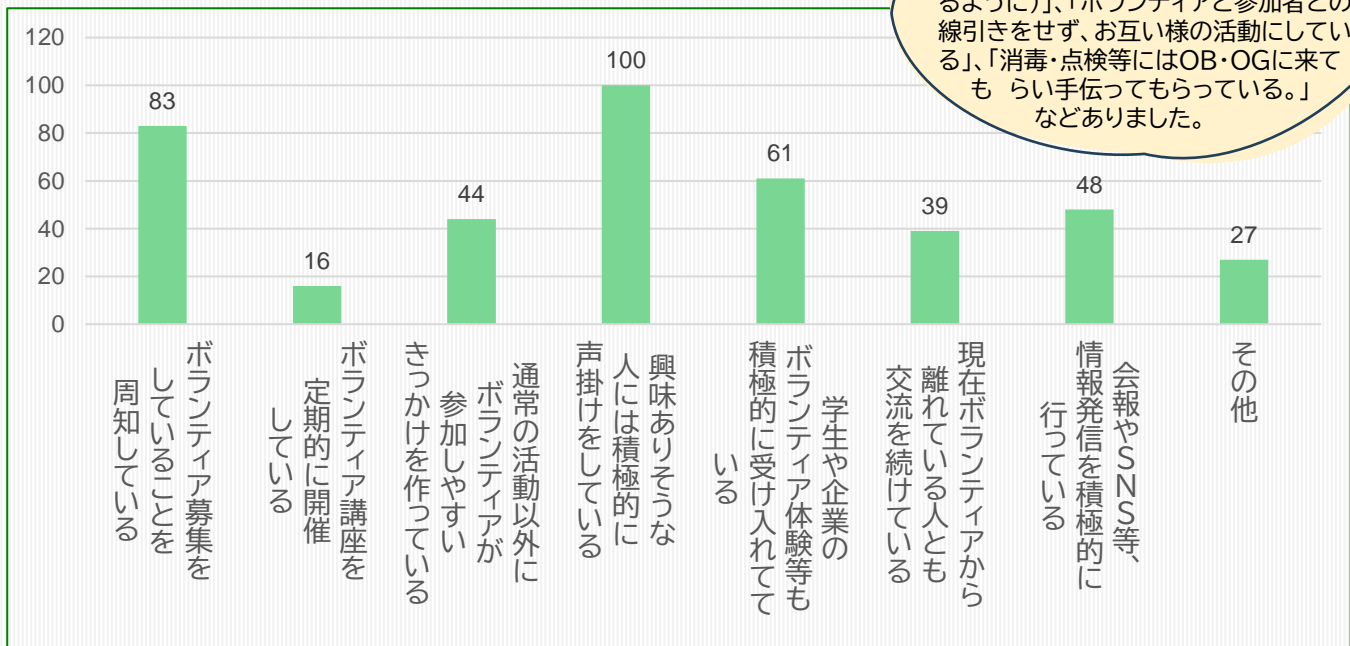
# おもちゃ図書館Q&A

## Q ボランティアにとってのおもちゃ図書館の魅力は？(複数回答可)



その他のご意見、「夢があるから」、「やさしい気持ちになれるから」、「子どもと一緒に参加できること」、「多世代の交流ができること」、「参加者の成長がみられること」、「全国、世界の人とつながれる」などありました。

## Q おもちゃ図書館のボランティアに参加してもらうための工夫はありますか？(複数回答可)



その他のご意見、「ボランティアが負担にならないようになっている(家庭優先でいつでも休めるように)」、「ボランティアと参加者との線引きをせず、お互い様の活動をしている」、「消毒・点検等にはOB・OGに来てもらい手伝ってもらっている。」などありました。

### 相談事業担当者より

40年間の間に、進化した玩具がかなり増えましたが、手作りおもちゃもアイデア満載で増えたことと思います。皆さまのおもちゃ図書館はいかがでしょう？

このニュースレターをお読みになり、皆さまの心の中、色々と感じるものがあつたかと思ひます。支え合う社会がここにあり、その場所に自身がいることに大変有難く感謝している方々のご意見、私自身も成長できている自分と家族が良い方向に歩んでいること、この居場所があつたからと深く感謝しております。ボランティア活動は心で動いています。時には辛く思ふ時もあります。そんな時は、この続いているニュースレターを読み返して元気になってくださいませ！ (川田)

相談事業担当 (青塚・川田・岸・山本・和賀)